

- 問1 日本国憲法における「国民主権」の原則について、その内容を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 天皇が国民の代表として国の政治の全責任を負うこと
 2. 国民が国の政治のあり方を最終的に決定する権力を持つこと
 3. 国会議員が国民の意思に関わらず自由に法律を制定すること
 4. 裁判所が国民に代わって国の最高権力を行使すること
- 問2 日本国憲法第98条では、「この憲法は、国の最高法規であつて、その条規に反する法律、命令、詔勅及び国務に関するその他の行為の全部又は一部は、その効力を有しない」と定められています。このように、憲法が国内の法体系の頂点に位置づけられ、いかなる法や国の行為もこれに従わなければならないとする原則を何といいますか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
1. 最高法規
 2. 国民主権
 3. 平和主義
 4. 法の支配
- 問3 日本国憲法第9条では、戦争の放棄とともに「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない」と定めていますが、政府は自衛隊の保持についてどのような見解を示していますか。最も適切な説明を選んでください。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
1. 日本国憲法第9条の条文の中に、自衛隊を保持できるという例外規定が明記されている。
 2. 主権国家として、国の交戦権を行使するために必要な組織であると定義している。
 3. 国際紛争を解決する手段としてであれば、実力を行使することは憲法上認められている。
 4. 自衛のための必要最小限度の実力を保持することは、憲法が禁止する「戦力」には当たらない。
- 問4 日本国憲法は、国内の法秩序において頂点に位置づけられており、これに反する法律や命令、詔勅などはその効力を有しないと定められています。このような憲法の性質を何と呼びますか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
1. 教育基本法
 2. 公法
 3. 一般法
 4. 最高法規
- 問5 日本国憲法第98条では、憲法が国家の法体系の中で最も強い効力を持つことが定められています。この条文において、憲法の規定に反する法律、命令、詔勅などの全部または一部について規定されている内容として、正しい記述を選びなさい。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 最高裁判所の判断が出るまで保留される
 2. その効力を有しない
 3. 内閣の助言と承認を必要とする
 4. 国会の議決により修正される
- 問6 日本国憲法における「勤労」と「納税」の義務に関する説明として、制度の仕組みや背景を正しく述べているものを選択してください。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
1. 勤労は権利であると同時に義務であり、納税は社会資本の整備や福祉などの公的サービスを維持するための財政的基盤を支える役割を持つ。
 2. 納税の義務は日本国憲法によって新設されたものであり、戦前の明治憲法下においては国民の義務として定められていなかった。
 3. 納税の義務は、国会の議決を経ることなく、政府が自由な判断で国民から税金を徴収できる権利を保障するために定められた。
 4. 勤労の義務があるため、病気や失業などで働けない状態にある国民に対しては、国は生存権を保障する義務を負わないこととされている。
- 問7 最高裁判所の裁判官が、その職務にふさわしいかどうかを国民が直接判断する「最高裁判所裁判官の国民審査」に関する説明として、制度の仕組みを正しく述べたものはどれか。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 参議院議員通常選挙の際に行われ、適任だと思う裁判官に○印をつけ、賛成票が全有権者の3分の2に達しなかった裁判官は罷免される。
 2. 衆議院議員総選挙の際に行われ、辞めさせたいと思う裁判官に×印をつけ、罷免を可とする票が有効投票の過半数に達した裁判官は罷免される。
 3. 憲法改正の国民投票と同時に行われ、裁判官の過去の判決内容について国民が賛成か反対かを投票し、反対が多い裁判官は罷免される。
 4. 裁判員制度の一環として行われ、法曹三者の中から国民がくじで選ばれた裁判官を評価し、不適切とされた者は内閣によって罷免される。
- 問8 日本国憲法が、通常の法律の制定や改正の手続きに比べて、憲法改正の手続きをより厳格に定めている理由と、その具体的な仕組みについて述べた説明として正しいものはどれですか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
1. 憲法改正は国の主権に関わるため、国会の議決だけで成立しないよう、閣議決定による承認を必須としている
 2. 憲法は国の最高法規であり、一時的な勢力によって容易に変更されないようにするため、各議院の総議員の3分の2以上の賛成を必要としている
 3. 迅速な政治判断を可能にするため、通常の法律と同じく出席議員の過半数の賛成で発議できるようにしている
 4. 国民の意見を幅広く反映させるため、国民投票において有効投票の3分の2以上の賛成を得なければならないとしている
- 問9 日本国憲法第1条では、天皇は日本国および日本国民統合の象徴であると規定されています。この象徴としての地位が、どのような根拠に基づいているかを示したものとして、正しい記述を選びなさい。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. 国際社会における平和の希求
 2. 主権の存する日本国民の総意
 3. 歴史的な伝統と国権の発動
 4. 基本的な人権に基づく天皇の権限
- 問10 日本国憲法第96条に定められている憲法改正の手続きにおいて、国会が改正案を発議した後に実施される「国民投票」で、改正案が承認されるために必要な条件として正しいものはどれですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
1. 国民投票における有効投票の3分の2以上の賛成を得る。
 2. 投票権を持つ全国民の過半数の賛成を得る。
 3. 衆議院と参議院それぞれの総議員の3分の2以上の賛成を得る。
 4. 国民投票における有効投票の過半数の賛成を得る。
- 問11 現代の民主政治において「人の支配」ではなく「法の支配」が重視されている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
1. 法律の手続きを簡略化し、権力者が迅速に政策を実行できるようにするため。
 2. 政治を行う権力者の権能をさらに拡大し、指導力を強めるため。
 3. 政府が国民の行動を制限し、社会の秩序を速やかに維持するため。
 4. 国家権力の不当な行使を制限し、国民の基本的な人権を守るため。
- 問12 日本国憲法において「法の支配」をより実効的なものにするための仕組みとして、適切な説明はどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. 行政機関が法律の裏付けなしに、独自の判断で国民の権利を制限できる権限を持っている。
 2. 裁判所が法律などが憲法に違反していないかを審査する違憲審査制が設けられている。
 3. 内閣総理大臣が裁判所の判決を覆し、独自の解釈で法を執行する特権が認められている。
 4. 一度成立した法律については、たとえ憲法に反していても裁判所がその効力を否定することはできない。
- 問13 日本国憲法において、天皇が日本国および日本国民統合の「象徴」として行う「国事行為」の性質について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
1. 内閣の助言と承認を必要とせず、天皇が国の最高責任者として決定を下す行為である。
 2. 天皇自らの判断で行われる、国政に関する権能に基づいた行為である。
 3. 国会の指名があった場合でも、天皇がその内容を拒否できる実権を伴う行為である。
 4. 内閣の助言と承認に基づいて行われる、形式的・儀礼的な行為であり、政治的な権能は持たない。